

「ウェルとばたの色彩設計」

Color planning for the newly built "Wel Tobata"



CD 研究所
第2部
田辺千尋
Chihiro
Tanabe



CD 研究所
第2部
宮川理香
Rika
Miyagawa



CD 研究所
第2部
石原麻子
Asako
Ishihara

SUMMARY

A Color planning was developed for the newly built multi-purpose municipal facilities Wel Tobata located at the South Exit of Tobata Station, in Tobata Ward, Kitakyushu City, a stop on the JR Kyushu-Kagoshima Main Line.

Kitakyushu City planned and built the new structure as a focal point for the activities of the citizens regional welfare network, the building was placed in front of the station as a symbol of this aim and consists of an administrative building, a large hall and a midsized hall; three buildings in all.

As for the coloring scheme, the design of the facility has also given due consideration from young children to the elderly. The buildings are welcoming and comfortable; the functional coloring scheme ensures that people who come to us the facility will not get lost inside the buildings.

要 旨

北九州市戸畑区のJR九州・鹿児島本線戸畑駅南口に新設された複合公共施設『ウェルとばた』の色彩計画を実施した。民間の地域福祉ネットワーク活動の拠点であると同時に駅前シンボルとして北九州市によって計画された施設で、業務棟、大ホール、中ホールという3つの建物から構成されている。

色彩設計にあたっては、施設の機能から考え、子供から老人まで幅広い年齢層の人々が利用することを考慮し、親しみやすく心地よい空間でありながら利用者が迷わないような機能的な色彩設計を意図し実施した。

1. はじめに

ここ数年、地域の活性化や高齢化にともなう福祉の充実を目指し、様々な取り組みが進められており、特にその地域の顔とも言える駅前地区の再開発が日本各地で活発に行われている。駅前地区においては施設や機能を充実させることにより、人々の交流やにぎわいを生むことができる。最近の駅前施設には商業・文化そして福祉などの複合的な機能が含まれる場合が多く、利用者のための情報収集や情報提供などを通して地域の特色を創出している。

このような背景のもと、北九州市においても平成17年度の完成を目標に「北九州市ルネッサンス構想」を立ち上げ、その中の「健康で生きがいを感じる福祉・文化都市」という項目において、これからの時代に対応した福祉の充実や都市環境を含む広い意味での文化性の高い都市づくりを目指すという方向性を打ち出した。この構想を展開する中で、戸畑区では区民と行政が一体と

なった『戸畑まちづくり構想』という取り組みにおいて、戸畑駅周辺地区を中心とした5つの地区を整備し、やすらぎと豊かさのある住宅都市を目指している。その一環として複合公共施設である『ウェルとばた』の新設が駅前再開発事業として計画された。当研究所では地域のオアシスとなるよう様々な視点から検討を行い色彩設計を実施したので報告する。

2. 色彩設計を行うために留意するポイント

建築物の色彩を考えるにあたっては、より最適な配色デザインとなるよう様々な視点から検討を行っていく必要があり、我々は対象物件と周辺環境との調和（環境特性）、対象物件の見られ方や見られる頻度（視点場特性）、対象物件の存在する地域の歴史や風土（地域特性）、対象物件の用途や規模（機能特性）、そしてその地域に課せられている景観条例などによる色彩ガイドラインなどを重要な要素と考えている。さらに、その建物や施設に込め

られた設計コンセプトとの整合性や、使用される素材特性を活かすことなども重要な要素と考え配慮されなければならないと考えている。

外装に関してはこれらすべてに配慮が必要であるが、内装に関しては建物の用途に合わせて特に機能特性への配慮や素材特性を把握することが必要となる。以下に本施設の色彩設計を行うにあたり実施した外装・内装それぞれに求められる色彩についての調査結果とそれに対する考察、および配色の主要なポイントについて述べる。

2.1 外装

2.1.1 環境色

まず、周辺環境の調査を行い色彩および自然や交通などの環境特性を把握した。主要な大型の建物は駅舎とショッピングセンターの2つであり、それ以外は小規模店舗を含む住宅地であった。駅舎は改築されたばかりでブルーのアクセントが目立つが外壁そのものはニュートラル系でまとめられており、ショッピングセンターも低彩度のブラウン系を中心に配色され、全体に落ち着いたイメージになっている。駅前ロータリーのペDESTリアンデッキや広場等の舗装面も、ブラウン系のレンガタイルの濃淡でデザインされていた。

また、若松地区と戸畑地区を結ぶ若戸大橋の赤い色彩が、地域のアクセントとして引き立っていた。

2.1.2 視点

戸畑駅は、都心である小倉と副都心である黒崎の中間地点として利便性が高いことから、周辺住民の他、車や電車の乗客、通勤・通学客など見られる頻度はかなり高い。さらに、戸畑の玄関口でありながら高層の建物がないことから、高層棟を含む3つの大規模施設で構成される本施設は、ランドマーク性を有し、このため注目度も高いと予想される。

2.1.3 立地

戸畑区は、福岡県・北九州市のほぼ中央に位置し、南部は低い丘陵地が続く比較的平坦な地域で、大きな川や樹林地は見られない。国の指定重要文化財である旧松本邸や国立九州工業大学や私立美術館などの文教施設が整った、好環境の住宅都市である。一方、西部の洞海湾に面した地域には水産をはじめとする様々な工場があり、戸畑区全体の57%が工業用地となっている。

2.1.4 歴史

戸畑地区は石炭積み出し港に端を発する水産港湾工業都市として発展してきた。その一方で八幡神社の祭事であり国の重要無形民族文化財に指定された戸畑祇園大山笠が伝統行事として残っており、福岡県の夏の三大祭りの一つとして受け継がれ、人々の目を楽しませている。

2.1.5 設計事務所によるコンセプト

本施設は文化・商業・福祉機能を併せ持つ複合施設として(株)梓設計により設計された。

戸畑の玄関口となる駅前に“戸畑の顔”としてのシンボル性を持

ち、多世代共生の支援機能をもつ施設として、誰もが使いやすいフレキシビリティのある施設を目指している。

そうした観点から、市民主役の生活文化創造発信基地として『街づくり・にぎわい交流拠点』を基本コンセプトとして、機能・環境・技術それぞれのコンセプトが策定されている。その中でも特に色彩設計に関わる点では以下の点が挙げられる。

- ・合理的で明快なゾーニングによる安全性の確保
- ・利用者の視点に立った、わかりやすく使いやすい安全な施設
- ・細かな配慮を積み重ねたデザイン

また、省エネルギー手法を積極的に取り入れ環境保全にまで配慮した地域のオアシスとなることを目指しており、また、駅前シンボルとして街の活性化やにぎわいの創出を目指し、Well (適切に)・親切に)・Welcome (歓迎)・Welfare (福祉)を施設コンセプトとしている。

2.1.6 戸畑地区の景観条例

北九州市都市景観条例に基づく「戸畑地区の駅前通り景観整備方針」では、以下の3点が挙げられている。

- ①まちの中心として活力がみなぎり、にぎわいの感じられる街並みを形成する。
 - ②質の高い美しさと風格が印象に残る街並みを形成する。
 - ③メリハリとリズム感があり、分かりやすい街並みを形成する。
- また、その中で色彩に関しては以下のように挙げられている。
- ①外壁および屋根は、周辺の景観や建物の色彩との調和に配慮する。
 - ②柔らかな色調を原則とする。

全体的に土地区画整理事業の流れに則って街並みがデザインされていることから、本施設の外装にも街並みとの調和を重視した配色デザインを施すことが重要であると考えた。低彩度のブラウン系のタイルを採用することにより大きさから受ける圧迫感を軽減し、金属素材やガラス素材の採用により駅舎との調和を図った。

3つの施設はそれぞれ高層棟、中層棟、円柱形という異なった形状を持っていることから、素材色のトーンを揃えることで全体の統一感を演出し、一つの複合施設としてのまとまりを表現した色彩デザインを提案することができた。



ウェルとばた全景

2.2 内装

一般に階数が多く、各階に類似の機能が重なる場合には各階ごとにテーマカラーを設定し判りやすくすることが、視認性の点で効果的でありデザイン性にも優れている。本施設は地上11階建ての高層棟、300席の中ホール、800席の大ホールと異なる機能が含まれることから、それぞれの用途や機能性を配慮した配色デザインとした。さらに、高齢者の視認性低下や子供の色彩嗜好性を意識したストレスフリーの内装空間を検討した。

こうした複合施設では、利用者層・機能・用途が多岐に渡っているため、そのすべての利用者に快適な内装空間を提供することが求められる。内装は色彩だけではなく、その空間を構成するすべての素材や形状・デザインを含めて考えることが重要であり、それにより人々に親しまれ安心して利用してもらえる施設を作り出すことができると考えた。

以下に具体的な色彩設計のポイントを列記する。

2.2.1 色彩の心理効果

大きさから受ける威圧感を軽減させるなど、色彩には様々な効果が期待できるため、色彩が人の心理面に与えるイメージや効果を活用し、それぞれの機能に最適な内装空間を作り出すことに配慮した。たとえば、緻密な作業を行う場には気持ちを冷静に保てる色彩を、人々の楽しい交流を促す場には暖かい色彩をとというように、それぞれの機能を十分把握理解し、色彩の持つ力を最大限に利用して快適な内装空間を作り出すよう配慮した。

2.2.2 ウェイファインディング

案内サインや各種表示は上品で洗練されたイメージばかりを追求するのではなく、視認性に十分配慮し目的地へのスムーズな導線を確保（ウェイファインディング手法）することで安全性が得られる。特にこれからの高齢化社会においては白内障などによる視覚の変化などにも配慮し対応することが重要なテーマとなっている。

2.2.3 素材選定

施設内の機能により選定する素材は大きく異なるが、選定した色彩を活かしつつ防汚、防滑、防臭、防炎などメンテナンス性にも配慮した素材選びが大切である。

エントランスなど施設の顔として人目に触れる部分と、倉庫など隠れた部分での素材選定のバランスにも配慮した。

2.2.4 子供の好む色彩について

当研究所では感性の育つ大切な時期に一日の大半を過ごす学校の色彩について、評価実験を行い色彩設計に活かすなど、研究を重ねてきた¹⁾。今回の施設には子供のための機能も含まれていることから、その研究成果を活用し子供の望む色彩環境に配慮して色彩設計を行った。

2.2.5 高齢者における色の見え方の変化

これからの高齢化社会においては白内障などによる視覚の変化への配慮も避けることのできない重要な課題である。現段階ではまだ研究途上であるが、見え方の変化の一般的な傾向には配

慮した。

2.2.6 ストレスフリーの色彩空間

近年、バリアフリーの提唱のもと、施設内外における機能面での様々な配慮がなされてきたが、それに続くものとしてのストレスフリーの内装空間について調査解析を行ってきた²⁾。

その成果を活用し、どんな配色や素材、デザインイメージによって、人が心理的・感覚的に受けるストレスを緩和・軽減させ癒すことができるのかということに配慮して色彩設計を行った。

3. 内外装の色彩コンセプトの策定

以上の考察に基づき、色彩設計の基本的な考え方を以下の通りとした。

- ①伝統と活気に満ちた生活拠点としての戸畑らしさを尊重した色彩。
- ②地域のランドマークとしてふさわしい象徴性を表現する色彩。
- ③機能・用途に適合し、かつ使用素材の特徴を活かした色彩。
- ④駅前空間としてふさわしいにぎわいと風格を備えた色彩。

これらをもとに基本コンセプトを『風土色を取り入れ、にぎわいのある駅前空間にふさわしい象徴性と発展性を表現する。』とした。

4. ゾーン別色彩コンセプト

上記コンセプトをゾーニング手法により各階層に展開した。

○世代間交流プラザ（2～3階）

インフォメーション、託児所、カルチャーセンター、ギャラリー、飲食施設などが含まれる。交流の場にふさわしいキーワードとして『親しみやすい・活動的な・明るい・楽しい・開放感がある』を選定した。



世代間交流プラザ

○総合福祉プラザ（4～8階）

高齢者総合支援関連、地域福祉活動関連、障害者福祉活動関連、児童・母子福祉活動関連の各施設が含まれる。福祉の場にふさわしいキーワードとして『あたたかい・快適な・優しい・健康的な・豊かな』を選定した。



総合福祉プラザ（上下とも）

○まなびプラザ（9～11階）

ボランティア大学、放送大学、職員研修所などが含まれる。教育の場にふさわしいキーワードとして『落ち着いた・洗練された・静かな・清潔な・穏やかな』を選定した。



まなびプラザ

○ホール（大・中）

伝統芸能や芸術祭、演奏会などの本格的な舞台演出が可能な大ホールと、市民の各種発表会など一般に開放された多目的な中ホールとがあり、芸術の場にふさわしいキーワードとして『高級感がある・上品な・重厚な・知的な・味わい深い』を選定した。大ホールはより重厚感を感じさせ、中ホールは親しみやすさが感じられるよう、トーンに変化をつけてそれぞれに特徴を付けた。

また、ホールロビーが3階の交流プラザとつながっているため、交流プラザの楽しさや活気、明るいにぎわいを感じさせつつ、高級感のある色彩に移行するよう配慮した。

さらに、これから始まる楽しいイベントや芸術に触れる期待感を高めるような配色とした。

さらに、ベースカラー・テーマカラー（アクセントカラー）で特徴づけることにより、ゾーニングを行い、利用者への分かりやすさ、使いやすさへ配慮をした。

また、床（フローリング）、階段の手すりや腰壁などに木質系素材や自然を感じさせる素材を使用したり、植栽をふんだんに盛り込むことで人工的なイメージを和らげた。これにより、人が心理的・感覚的に受けるストレスを緩和することを目指した。



大ホール



中ホール



ホール前ロビー

新技術

○ベースカラー

内部空間のイメージを作り出す広い面積を占める色彩であるため、威圧感を与えず、開放感のある広々とした印象となるよう配色選定し、ストレスフリー空間を演出した。

○ゾーンカラー

ウェイファインディング手法により位置の明確化やスムーズな導線が確保できるよう、色彩により特徴づけた。

<内装ベースカラー>

天井	岩面吸音板 (N-9.0)	石膏ボード (2.5Y 9.0/0.5)
	EP塗装 (10YR 9.0/0.5)	ビニルクロス (10YR 9.0/1.0)
壁	石貼り (1Y 8.0/1.5)	木質形素材 (サクラ天然木)
	タイル (Y系N-6.0)	石貼り (クールグレー)
床	タイル カーペット (2.5PB 5.0/1.5)	フローリング (ナチュラルウッド)

<内装アクセントカラー>

9 ~ 11階	まなびプラザ	(5PB 7.0/1.5)	(2.5PB 8.5/0.5)
4 ~ 8階	事務フロア 総合福祉プラザ	(5GY 7.0/1.5)	(5GY 8.5/0.5)
	子供総合相談センター	(10YR 7.0/1.5)	(10YR 8.5/1.0)
2 ~ 3階	交流プラザ	(N-9.0)	(N-6.5)
ホール	大ホール	(5YR 6.0/2.0)	(5YR 6.0/1.5)
	中ホール		

新技術

ゾーン1：まなびプラザ

研修を受けたり学習したりする場として集中できる空間を作り出すために、安息効果のあるG～B系の色彩を用いた。寒々しいイメージを避けるために高明度・低彩度の色彩によりさわやかさや清潔感を演出した。

ゾーン2：総合福祉プラザ・事務フロア

自然を感じさせる色彩は人の心に安らぎを与える効果がある。特に事務ワークを行う空間としては、リフレッシュ効果のある色を配して緊張感を和らげた。また、低彩度色を選定することで強烈なイメージを避けおだやかな空間を演出した。

ゾーン3：総合福祉プラザ・子供総合相談センター

まず第一に訪れた人に威圧感を与えずリラックスした気持ちで相談などが行えることが重要である。刺激的な配色は避け、暖色系のあたたかく優しいイメージの配色により、親しみやすい空間を演出した。

ゾーン4：交流プラザ

不特定多数の人が行き交う場であることから、人そのものをアクセントとしてとらえ、吹き抜けの開放的で明るい構造を活かし、ここではあえて目立つ配色は避けニュートラル色の明度差を組み合わせさせて配した。

ゾーン5：ホール

他のプラザよりも高級感を重視して、上品で落ち着いた空間とした。メインの内装材である木質系素材と相性の良いブラウン系を中心に、大ホールはより重厚に、中ホールはより親しみやすく感じられるよう、明度の濃淡で差を付けた。

5. おわりに

各機能特性に配慮した色選定を行うことにより、快適な内外装デザインとなることを検討した。事務棟とホールの機能性の違いを強調したことにより、それぞれの特徴づけができたと考えている。既に2002年10月にオープンし、周辺地域の人々に利用されている。

また、公共複合施設のモデルケースとして、他地区からの注目度も高く、今後も様々な意味で注目される施設となっている。

参考文献

- 1) 石原麻子：日本色彩学会誌、p.74-75 (2001VOLUME25)
- 2) 田辺千尋：日本塗装技術協会予稿集、p.108-111 (1999)

参考情報

ウェルとばたのホームページ

<http://www.wel-tobata.jp/>

戸畑区役所のホームページ

<http://www.city.kitakyushu.jp/~tobata/>

北九州市ルネッサンス構想

<http://www.city.kitakyushu.jp/gaiyou/kousou/top.html>